



東川園長ごあいさつ～みんなでつくった特別な日～



11月22日(土)、秋晴れのもと、運動会を開催いたしました。今年は、明石養護学校の体育館をお借りし、福祉と教育の連携のもと、地域のご協力をいただきながら実施することができました。ご理解とご協力をいただいた皆さんに、心より感謝申し上げます。

当日は、大阪・関西万博をテーマに「国別対抗運動会」として、子どもたち、保護者の皆さん、きょうだい児の皆さんと一緒にになって、さまざまな競技に取り組みました。ミャクミヤクポン体操で元気に体を動かし、「みんなでポンポン」では笑顔いっぱいに玉入れを楽しみました。「世界を旅しよう」では親子で力を合わせてかけっこに挑戦し、「国旗ゲットだぜ」ではきょうだい児と保護者の白熱した綱引きが会場を盛り上げました。最後は「ミャクミヤクへ届けよう」と題した大玉送りで、会場が一体となり、笑顔と歓声に包まれました。

特別ゲストとして登場したミャクミヤクの姿に、子どもたちの目もキラキラと輝き、まるで夢の中のようなひとときでした。最後には全員で記念写真を撮影し、思い出に残る一日となりました。

これからも、子どもたち一人ひとりの成長を支える場として、地域や関係機関とのつながりを大切にしながら、温かい支援を続けてまいります。

三田谷フェスティバル～これからも繋がりを広げます～



屋台の様子

11月1日(土)三田谷フェスティバルに参加させていただきました。例年、三田谷治療教育院の本部のある芦屋市で行われています。屋外には食べ物やゲーム、バザーなどの模擬店がたくさん並び、ホールでは地域の中学校の吹奏楽部の演奏や、三田谷学園の子ども達のステージ等が行われ、とてもぎわっていました。

ゆりかご園から参加した職員は、模擬店の豚汁ブースを担当しました。フェスティバルの開始時間は10:30だったのですが、その時間からたくさんの方が列を作ってくださいました。利用者さんやそのご家族だけでなく、地域の方もたくさん来られており、皆さんの生き生きとした表情からこのフェスティバルをとても楽しみにしておられたことが伝わってきました。地域の方は日常で関わる事が少ないので、利用者さんや施設のことを知りながら、お互いに関わる事が出来る良い機会となりました。(塩野)

総合防災訓練～消防車の中で記念撮影



10月30日(木)明石市消防署から消防士の方に来ていただき総合防災訓練をおこないました。

非常ベルが鳴り園庭に避難し、消防署に訓練通報をおこないました。その後、消防士の方から火事の時の注意点(避難すべきか、消火すべきかの判断基準)を教えて頂き、水消火器を使用し消火訓練も行いました。毎年させて頂いている消火訓練なので少しずつ慣れスムーズに消火器を操作する姿が見られました。

訓練後には、こども達は消防車の運転席に乗せてもらったり、備え付けられている装備や道具についても説明して頂いたりと、とても貴重な体験となり、参加したこども達も笑顔いっぱいでした。

この訓練で、学んだことをいざという時に実践できるようにこれからもしっかり訓練していきます。(柳瀬)



消防署に通報している様子



食育～やきいもグーチーパー～

保育では3クラス合同で11月19日(水)・20日(木)に食育の一環として、ゆりかごクッキングを行いました。第1回目は“りんご”第2回目は“すいか”でした。今回、第3回目は“さつまいも”で焼き芋を作りました。最初にみんなで“やきいもグーチーパー”的に合わせて、各クラスで行ってきた手遊びやふれあい遊びを披露してクッキングスタートです！

まずは、さつまいもを触りました。ずっしりとしていて、ごつごつ、ざらざらとした感触・・・手に取り興味津々のお子さまもいれば少し苦手そうなお子さまと様々でした。できるまでの工程をみんなで注目です！職員が目の前で、アルミホイルに包んでオーブントースターに入れて「チーン！」となり焼き芋が完成！！お子さまにはアルミホイルで包む工程に参加してもらいました。アルミホイルの感触も初めてのお子さまもおられるようでした。

そしてみんなで実際に食べてみました。ペースト状にしたり味見であったりと食べ方はそれぞれですが少人数で机を囲み、お友だちの様子をみながら食べられたことで、みんなで雰囲気を感じることができてよかったです。今回は、さつまいもを使って焼き芋を作る過程の中で、「触る」「匂う」「食べる」を経験してもらいました。今後も、様々な食材に触れながら食に興味をもってもらえばと思っています。(真田)



七五三の儀式～玉串の奉納も頑張りました～



兵庫県神道青年会様のご厚意により、11月19日(金)に七五三の儀式をゆりかご園で行っていただきました。当日は、リハビリ室に祭壇を設営していただき、園児、保護者、職員の計34名が参加しました。神社で行っている七五三の儀式と同様の流れでご祈祷をしていただき、園児一人ひとりの名前を読み上げ、ご祈念をしていただきました。地域の神社まで行き、ご祈念していただく方もいらっしゃると思いますが、大勢の参拝の方と一緒に儀式に参加することに戸惑われる方もおられます。そういう方のために、ゆりかご園に神道青年会の方が来ていただき、ボランティアで七五三の儀式をして下さったのが、この取り組みの始まりと聞いています。こどもたちはリハビリ室のいつもと違う雰囲気や儀式に少し戸惑った表情はしていましたが、最後まで落ち着いて参加できました。こどもたちにとっては日本の伝統的な儀式を体験する貴重な経験になりました。(山本)

